



# 中学生用 読書のすすめ

にこまる

## 読書の習慣を身につけよう！

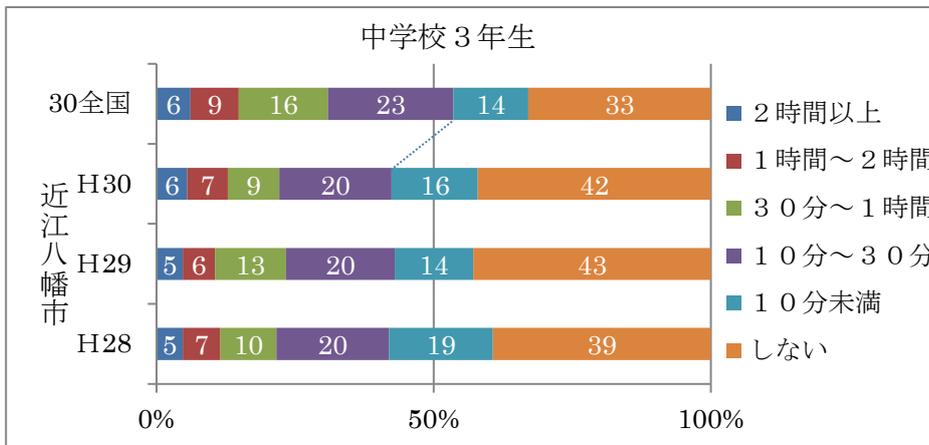
読書を通じて、読解力や想像力、思考力、表現力等をつけられるとともに、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることができるようになります。また、文学作品に加え、自然科学・社会科学関係の書籍や新聞、図鑑等の資料を読み深めることを通じて、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを自分のものとし、さらなる探求心や真理を求める態度を育てることができます。

全国学力・学習状況調査の結果を見ると、読書習慣がある生徒のほうが、正答率が高い傾向が見られます。読書は、問題を読み解く力や資料を読み取り考察する力などを高める効果があると考えられます。

## 平成30年度全国学力・学習状況調査 近江八幡市の中学校3年生の結果から

### 生徒質問紙の結果から

○「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」の回答結果



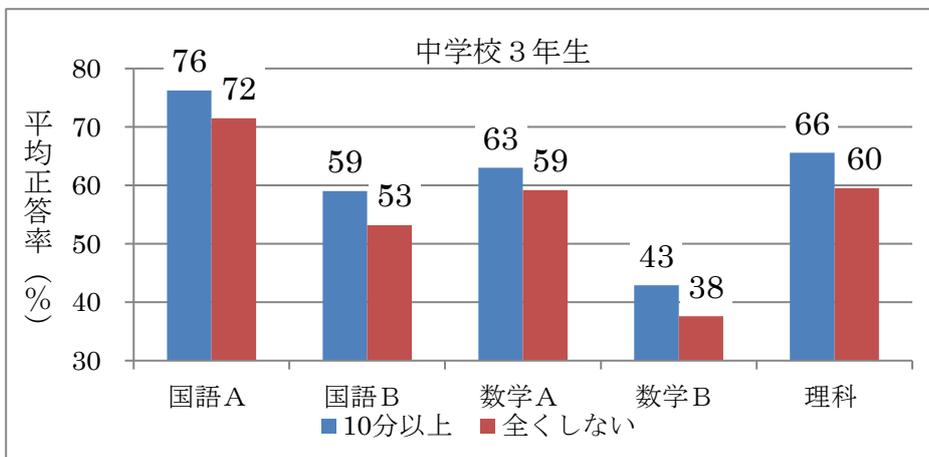
平成30年度「10分以上読書をしている生徒」の割合

近江八幡市 42%

全国 54%

全国と比べ、読書時間が短いことがわかります。家庭での時間の使い方を工夫し、読書時間をつくりましょう。

### ○読書を「10分以上する生徒」と「全くしない生徒」の平均正答率の比較（近江八幡市）

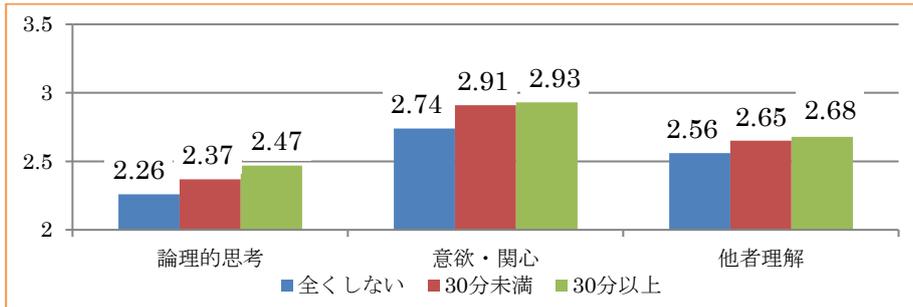


読書を「10分以上する生徒」の平均正答率は、国語だけでなく、数学・理科でも高い傾向がありました。

特に、B問題（活用を問う問題）で差が大きく、読書を通して、読解力や思考力、表現力が高まっていると考えられます。

## 「子供の読書活動の推進等に関する調査研究」(平成 29 年 3 月)から

### ○平日の読書時間と意識・行動等との関連性 (平均値比較)



\*縦軸は、質問に対して「とてもあてはまる」4点、「ややあてはまる」3点、「あまりあてはまらない」2点、「まったくあてはまらない」1点として、合計した点を項目数(3)でわった数の平均値

30分以上読書する生徒は「論理的思考」の指標が高くなっています。

<論理的思考の指標>

- 物事を正しく考えることに自信がある
  - 複雑な問題について順に整理しながら考えるのが得意である
  - 考えをまとめることが得意である
- の質問に対する回答から計算

# 子どもたちに読書習慣をつけるために

## 読書の時間をつくりましょう

スマートフォンの普及や、それを活用した SNS (ソーシャルネットワーク サービス) 等コミュニケーションツールの多様化などで、それらを使う時間が長い子どもほど読書時間が短くなっています。時間の使い方を子どもと話し合い、ルールを決めましょう。その中で、スマートフォンを使う時間やテレビを見たり、ゲームをしたりする時間を短くし、読書の時間をつくるようにしましょう。

## 本との出会いの場をつくりましょう

定期的に図書館に通ったり、学校の図書室を利用するようにすすめたりするなど、本と接する機会を多くつくりましょう。

家にある本を、子どもが手に取りやすい場所に置くのも一つの方法です。

## 読書を通して、対話しましょう

思春期の子どもたちは、心を閉ざしがちになることがあります。今までの読書の経験や読んだ本の感想など読書を通して対話し、子どもと世界を共有してみましょう。また、読書が続けられるように励ましましょう。

# 家庭でこんなふうにサポートしましょう

## 中学生

- ・多読の傾向は減少し、共感したり、感動したりできる本を選んで読むようになる。自己の将来について考え始めるようになり、読書を将来に役立てようとするようになる時期です。
- ・毎日10分でも読書することをすすめましょう。
- ・いろいろなジャンルの本を読むようにすすめましょう。
- ・自分の読書経験で得たことや心に残っている本のことなどを話してあげましょう。